

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法管理学Ⅰ		講義	坂東 恵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法士に求められる役割・知識を踏まえて、良質な理学療法提供のために、自己管理も含めて理学療法場面におけるリスク管理やマネジメント、さらには理学療法士を取り巻く社会保障制度について知る。また、理学療法士養成カリキュラムにおける臨床実習の形態とその目標・用語について知り、臨床にむけた自己管理の必要性を認識する。				
授業の到達目標				
理学療法士に求められる管理・マネジメントについて理解できる。理学療法士の自己管理、情報の管理、医療事故（アクシデント、インシデント）への対応、感染対策について説明できる。社会保障制度（主に医療保険制度、介護保険制度）について説明できる。理学療法士養成カリキュラムの臨床実習について、その形態・目標・用語を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	理学療法士と管理・マネジメント 理学療法士と自己管理1（PDCAサイクル、カリキュラムツリーを通して自分の学習を考える、論理的思考力）			
2	理学療法士と自己管理2（プレゼンテーション力の必要性について、コミュニケーションスキル・信頼感の必要性について）			
3	リスクマネジメントと理学療法1（院内感染と感染対策、医療現場における清潔・不潔）			
4	リスクマネジメントと理学療法2（標準予防策、手指衛生・手洗い実習）			
5	リスクマネジメントと理学療法3（リスク管理とは、医療事故（アクシデント・インシデント）・その報告と安全への取り組み）			
6	理学療法士と情報の管理（理学療法士と記録、診療録について、個人情報保護法）			
7	理学療法士を取り巻く社会保障と保険制度（社会の一員となるために知っておきたいこと、電子メールのマナー）			
8	理学療法士養成カリキュラムにおける臨床実習について			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	60%			
小テスト	40%	毎回講義内容の課題を提出する。2回目の講義より、前回の講義の小テストを実施する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
理学療法管理学 第2版		橋本隆（編著者代表）	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 理学療法管理学		長野聖	中山書店	
PT・OT・STのためのコミュニケーション実践ガイド 第3版		山口美和	医学書院	
自由記載				
備考				
講義の順番は前後することがある				